

建築人

2021
6

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.684





建築人

2021.06 No.684

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「UTSUROI TSUCHIYA ANNEX」 2018年

第64回大阪建築コンクール大阪府知事賞部門大阪府知事賞受賞作品
設計：垣田博之（垣田博之建築設計事務所）
施工：谷口屋工務店
撮影：母倉知樹

城崎の旧消防署のコンバージョン。テラス、カフェを、風景画の展示スペースと組み合わせて配置した。絵にも描かれている、この地域に固有の川霧によって、スクエアな建築を街になじませることをねらった。2階には風景画スケッチの中で宿泊できる空間を設けている。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「あすなろ花卉の郷」

設計・監理：徳岡設計

施工：後工務店

「Forest House」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：建築工房小林

7 インフォメーション・事業案内

8 第64回大阪建築コンクール入賞発表

12 動静レポート

14 記憶の建築

「脇田和アトリエ山荘」1970年

穏やかな時を重ねて / 松隈 洋

建築人 No.684 2021年6月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二（編集人代表）

委員長：高原浩之

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂龍一之
大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和3年6月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

近代大阪における、水の都を代表するひとつが中之島エリアだ。一時は取り壊しの危機にあった大阪市中央公会堂や大阪府立中之島図書館など、歴史的建造物も数多く存在する中之島公園を紹介したい。当時の中ノ島は明治維新以来、島の殆どを占めていた全国の蔵屋敷が無用のものとなり、白昼に追剥が出没するほど荒涼とした光景であったと伝えられている。その後、1879年に豊国神社の遷座、1885年の朝日新聞社の中ノ島移転を経て、1891年に裁判所の跡地を、大阪の市街地において初めての仮公園に指定した。そして1899年には市会の議決を経て、正式に「中ノ島公園」と呼称されるに至った。その後、公園内に建物が増加したために、1915年に淀川低水工事に伴い天神橋の上流までを埋立て、さらに公園を拡張していった。

堂島川と土佐堀川に挟まれた、現在の中之島公園の延長はおよそ1.5km、総面積10.6haにおよび、オフィス街の憩いの場として市民に利用されている。園内には、約310種類およそ3700株からなるバラ園が整備されており、5月中旬と10月中旬には美しいバラで彩られ、オフィス街の無機質な風景に色鮮やかな華を添える。大阪府では、新型コロナウイルス蔓延により緊急事態宣言が発出されており、無情にも人がいないバラ園の風景は空虚感に苛まれており、今年で終わりにしたい。

参考：中ノ島公園の歴史的考察

大阪府立中之島図書館「水都中之島いまむかし」

Gallery





社会福祉法人大塔あすなろ会は、施設の災害対策や入所者への医療提供の安全性確保などの課題に応えつつ、障害者の市民参加、理解の醸成を図るため、自然に囲まれた豊かな環境と社会参加・貢献を実感できる日常を育む場として、かつて花卉栽培の団地のあったこの地への移転を決断した。私的空間である個室とセミパブリックな居間・食堂で構成されるユニットを繋ぐ、作業室や多目的スペースなどのコモンスペースと管理諸室が、心静かな周辺環境と農地や動物飼育スペース、芝張りの空間に包容され、地域に生き、住民との接点を持ちながら各人の「居場所」として確かなものにしていく礎になることを期待している。
(徳岡浩二／徳岡設計)

所 在 地：和歌山県上富田町
用 途：障害者支援施設
竣 工：2021.02
構造規模：RC+S造
2階建
敷地面積：5,107.81㎡
建築面積：2,847.88㎡
延床面積：2,920.72㎡
写 真：松村芳治



敷地は六甲の中腹。緑豊かな環境を活かすため矩形の平面を切断して
ずらすことで生まれた余白を庭や水盤とし、どこにいても木々や風、水が
感じられるような空間を目指した。左右に水のゆらぎを感じて、2階へと
上がると正面には諏訪鉄平石の壁が現れる。LDKに入ると勾配天井が
視線を低い方へと誘導し、開口から見える木々の葉により、森の中を浮
遊しているように錯覚する。敷地で産出した石で作る踏石や、木チップを
使い、元の自然を活かした散策路を設け、回遊性のある外構計画とした。
木々の中を歩み、足を止め、切株に腰かけるといった時間を過ごす中で、
建築と自然のさまざまな表情を見る。緑、風、石、水、光が五感を刺激し、
住まう人に安らぎを与え、日を増すごとに魅力を増していくだろう。

所在地：兵庫県芦屋市
用途：専用住居
竣工：2020.03
構造設計：木構造建築研
究所田原
構造規模：木造2階建
敷地面積：758.65㎡
建築面積：147.50㎡
延床面積：283.29㎡
写真：下村写真事務所

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離間距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。
 感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。
 （業務内容）
 耐震診断報告書の審査、評価
 耐震補強計画書の審査、評価 等
 （対象建築物）
 公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
 （会員特典）
 申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10％割引があります。

令和3年度監理技術者講習（監理技術者以外の方も受講可能）
7/7、9/3 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。
 日程 7/7（水）、9/3（金）
 時間 8：55～17：00
 会場 大阪府建築士会会議室
 定員 各回20名（定員に達し次第締切）
 受講料 WEB申込み9,500円
 郵送申込み10,000円
 申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和3年度建築士定期講習

10/21、11/24、12/17、1/20、2/8、3/7、3/24 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
 日程・会場・定員
 ▼対面講義
 ※10/21（木）大阪YMCA会館2階 100名
 11/24（水）大阪府建築健保会館6階 50名
 ※12/17（金）大阪府建築健保会館6階 50名
 1/20（木）大阪YMCA会館2階 100名
 ※2/8（火）大阪YMCA会館2階 100名
 3/7（月）大阪国際会議場10階 200名
 ※3/24（木）大阪国際会議場10階 200名
 時間 9：15～17：00（各講習日共）
 受講料 12,980円（消費税込。事前振込）
 申込方法
 申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。（平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）
 ご記入後、大阪府建築士会又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。
 受付場所（送付場所）
 ※印の日程 大阪府建築士会事務局
 ※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局
 建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
<https://jaeictkosy.jp/jaeictaikikosyu/>
 （注）各回定員に達し次第、受付を終了します。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習6/24、11/25 CPD各5単位
 更新講習9/21、12/22、2/15、オンライン講習CPD各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2018年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。オンライン講習も開催します。
 ▼新規講習（DVD講習）
 日時 6/24（木）、11/25（木） 9：30～17：00
 会場 本会会議室
 定員 20名（定員に達し次第締切）
 受講料 郵送申込22,000円
 WEB申込21,450円
 ▼更新講習（DVD講習）
 日時 9/21（火）、12/22（水）、2/15（火）
 13：30～16：50
 会場 本会会議室
 定員 各20名（定員に達し次第締切）
 受講料 郵送申込17,600円
 WEB申込17,000円
 ▼更新講習（オンライン講習）
 日程 第2ター 7/1（木）～7/15（木）

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
 メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

申込締切6/17（木）、定員100名
 第3ター 9/1（水）～9/15（水）
 申込締切8/18（水）、定員100名
 受講料 WEB申込みのみ17,000円
 ※受講に必要なパソコンの動作環境の詳細は、日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。
 ▼申込
 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

建築技術講習会

「ラスモルタル壁の安心・安全を目指して」
 6/23 CPD3単位予定

地震のたびに脱落など大きな被害が生じて、危険な壁と認識されがちなラスモルタル壁ですが、原因としては適切な設計や施工がなされていなかったことがあります。非構造壁等の耐震化や維持メンテナンスの観点からもラスモルタル壁の設計・施工監理が益々重要となっています。
 今回の講習会では鉄骨造や木造を対象としたメタルラスやラスシートの施工マニュアルと設計に関する留意点についてとりまとめた技術資料をもとに詳しく解説いたします。
 日時 6月23日（水） 14：00～17：00
 会場 大阪府建築健保会館 6階ホール
 定員 70名（定員に達し次第締切）
 受講料 主催・共催団体会員3,500円
 後援団体会員4,500円
 一般5,500円

生産性向上に向けた建設ICTの動向

6/29 CPD3単位予定

建設業界では少子高齢化による労働力不足は深刻な状態となっており、労働生産性の向上が大きな課題となっています。これを解決するために、業界全体でICTの活用による生産性向上を目指した様々な取り組みが行われています。今回の講習会ではその最新事例と動向を紹介いたします。
 日時 6月29日（火） 13：30～17：00
 会場 大阪府建築健保会館 6階ホール
 定員 70名（定員に達し次第締切）
 受講料 建築士会会員3,500円
 後援団体会員4,500円
 一般5,500円

建築士の会いずみ野

建築家・郷土史家 池田谷久吉没後60周年に伴う講演（談話）と日本遺産／天然迷宮都市・さの町場「泉佐野ふるさと町屋館」見学会
 6/26 CPD3単位（予定）

2019年7月に「没後60周年記念誌 建築家・郷土史家 池田谷久吉の生涯」が、久吉氏の長男である胤昭さんと恵美子夫人、北山理先生の協力により刊行されました。今回は講師として北山先生をお招きし、池田谷久吉没後60周年に伴う講演をしていただきます。ま

た古くは熊野詣の街道町として賑わい、独自の町人文化を開花させた「さの町場」、文化財「泉佐野ふるさと町屋館」など、和泉国随一の港として栄えた地域を散策します。
 日時 6月26日（土）
 13：00～ 受付
 13：30～16：30 講演、見学会
 会場 泉佐野ふるさと町屋館
 定員 30名（定員に達し次第締切）
 参加費 会員・会員外とも1,000円
 学生500円

その他のお知らせ

特別企画「建築家・丹下健三先生設計の幻の北野田駅前再開発計画案について考える集い」
 6/12

平成初年に記載された新聞記事などを報告します。
 日時 6月12日（土） 11：00～
 会場 堺市立東文化会館
 申込 不要（参加自由）
 問合 明治建築研究会
 Tel.090-4289-1492

大阪府登録文化財所有者の会主催
「歴史的建造物の保存と活用に向けて」
 3回連続講座

歴史的建造物の防災・安全性の確保を学ぶとともに、地域の歴史文化を継承し次世代に繋ぐことをめざして、3回の講座を企画します。
 第2回は、泉南市のrojica（ロジカ）（大正時代の赤レンガの紡績工場跡）を会場とし、歴史的建造物と防災について学び、また消防署等の指導で消火器の使い方を体験します。
 第2回 講座
 歴史的建造物と防災 ー1ー
 『歴史的建造物の防火手法と地域防災拠点化』
 日時 2021年7月10日（土） 13：00～
 会場 rojica（ロジカ）（泉南市）
 講師 大窪健之（立命館大学理工学部教授
 歴史都市防災研究所所長）
 泉南市消防署・教育委員会

参加費 1,000円
 定員 25名予定（申込先着順）
 申込 カルテッドオンライン
<https://www.quartet-online.net/ticket/otoubun20210710>
 問合 大阪府登録文化財所有者の会事務局 Tel.090-5136-6989
 今後の予定

第3回 講座 9月11日（土）
 詳細は『大阪文化財ナビ』に掲載
<https://osaka-bunkazainavi.org/>

第64回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会 後援／大阪府

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞

突板のギャラリー

今津康夫

UTSUROI TSUCHIYA ANNEX

垣田博之

宗田家住居

竹内正明・小池志保子・真砂日美香・梶田洋子

■渡辺節賞部門 渡辺節賞

堰の家

齊藤智士

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

募集範囲

2015年1月1日から2019年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

* 建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

* 竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

完了検査済証発行日現在 39

歳以下

審査委員会

委員長 長坂 大 (京都工芸繊維大学教授)

委員 荻原廣高 (神戸芸術工科大学准教授)

※50音順 寺本武司 (前大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長)

中嶋節子 (京都大学大学院教授)

橋本一郎 (エス・キューブ・アソシエイツ)

審査

応募数 大阪府知事賞部門 27 点

渡辺節賞部門 8 点

審査委員会 3 回

●第1次審査

令和2年3月3日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門7点、渡辺節賞部門2点を選考

●第2次審査

令和3年2月19日 設計者によるプレゼンと審査委員との質疑応答

●最終審査

第2次審査終了後に実施

大阪府知事賞部門：大阪府知事賞3点、

渡辺節賞部門：渡辺節賞1点を選出

表彰式

日にち 令和3年5月19日(水)

本会定時総会式典席上

会場 KKR ホテル大阪

審査経過並びに総評



審査委員長
長坂 大

今年は、パンデミック下における建築コンクールの可能性を模索する年となった。応募が締め切られた2020年1月31日にはまだ、忍び寄る危機の大きさに気づいていなかった。しかし一次審査が終わった3月3日、世界はすでにコロナ禍に突入していた。

建築を評価するためには、その建築が建つ場所に赴き、その場所の地理的、社会的現実を確認し、現実の空間を体感す

ることが望ましい。しかし今回はこれを実践できない。まず現地審査をめぐる審査団の大型バスの閉鎖空間が問題になり、現地視察における建築主や応募者も含めた関係者の集団化がリスクとなった。時間と場所を人々が共有するという、建築の本質的な役割が問われているのである。当初、コロナ禍が収まり次第現地視察を実行する予定であったが、半年を経過してなお事態は好転しなかったため、大阪府建築士会「大阪建築コンクール」運営委員は審査委員会と協議し、本年度は現地審査を諦めて審査会場での対面プレゼンテーションによって最終審査を行うことにした。もちろん延期や中止も検討されたが、一定条件下ではあっても、その評価方法を報告した上で本年度中に入選者を選ぶ方が望ましいと考えたのである。

さて、ここからは例年と同様具体的な審査経緯を記載することにしよう。今回の応募数は、「大阪府知事賞」27点、「渡辺節賞」8点。2020年3月3日に行われた一次審査では、資料の自由閲覧時間を経た後、投票と議論によって現地審査対象作品をそれぞれ7点と2点に絞った。コロナ禍の長い中断期間を経て2021年2月19日に行われた二次審査では、計9組の応募者が対面でパワーポイントによるプレゼンテーションを行った。発表10分・質疑応答10分である。発表後、引き続き最終審査会を行なって入賞作品4点を決定した。

知事賞の「UTSUROI TSUCHIYA ANNEX」は審査委員全員が推薦した作品である。消防署の興味深いコンバージョンで、場所性が重要であるため、審査委員会中、最も現地視察を求められた

作品であったが実現できず、応募者のプレゼンと委員同士の情報交換によって場所についての情報を補いながら議論した。同じく知事賞の「宗田家住居」は、第2位の得票数であった。市街地における民家改修プロジェクトとして評価される一方、オリジナリティーも問われたが、構造補強や軸線の扱い等が評価された。知事賞3つ目の「突板のギャラリー」は、同点3作品から議論の後に選ばれた作品である。倉庫に向き合って新築されたギャラリー棟は洗練された造形と、工場敷地全体に目が行き届いたランドスケープデザインに好感が持てた。

以下、惜しくも入選に至らなかった作品について少し触れておこう。「オセロハウス」は、将来の親世帯住宅との個室/家族室の交換システムが興味深い提案であったが、その空間的魅力について疑問が残った。「アサヒファシリティズ蛭池寮 楓」は広い共用生活空間と二戸のユニットとの組み合わせによる平面が明

快であったが、シェアキッチンと共用空間（コモンスポット）との関係は、より緩やかで柔軟であることが期待された。「城東区複合施設」は、膨大な与件を狭い敷地内にまとめた手腕は高く評価される一方、威圧感の軽減・壁面分割といった目標や現実の空間造形にはそれほど魅力が感じられなかった。むしろこの長大さを積極的に表現するのは難しかっただろうか。「四畳半キューブの家」は3m近い高低差のある敷地を人工地盤とキューブで住まいにするという構想がユニークであった。しかし、人工地盤下の「近隣に解放された広場」やキューブの隙間の屋内空間の魅力が伝わらなかった。6つの団体が入居する大型複合ビル「京都経済センター」を取りまとめるのはさぞかし大変であっただろうと推察する。だが、たとえば2階の外周に設けられた屋外バルコニーや内部の吹き抜けは、都市空間としての意味や空間構成上の目的に共感が持てる一方、物理的な空

間に魅力が感じられなかった。

建築行為は産業活動と文化活動両方の側面を持つものである。おそらく多くの建築コンクールがそうであるように、このコンクールでもその後者についての魅力や革新性を主たる評価対象として論議した。それゆえ業務量の多さや克服した課題の数は、直接評価の対象とはならない。それが建築の性質を変える力として魅力的に作用した時はじめて評価される。今回、2つの大きな建築が選ばれなかったのは主にこうした理由だが、実は、これは小さな建築においても同じである。小住宅で、建築家が家族論争をとりまとめるのに要したエネルギーは、それが魅力的な空間、あるいは新しい「何か」につながらなければ、社会や歴史に評価されることはない。

コロナ禍を通じて都市や建築に様々な思想転換が起きている。世界が「災転じて福となす」方向に進みますように。

審査風景（第1次審査 令和2年3月3日、第2次・最終審査 令和3年2月19日）



■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 突板のギャラリー

設計者 今津康夫（株式会社ニンキペーン級建築士事務所）



今津康夫
1976年3月生まれ
1995年4月 大阪大学工学部地球総合学
科入学
1999年3月 大阪大学工学部地球総合学
科卒業
1999年4月 大阪大学大学院工学研究科
地球工学専攻入学

2001年3月 大阪大学大学院工学研究科地球工学専攻修了
2001年4月 遠藤剛生建築設計事務所に入社
2005年3月 遠藤剛生建築設計事務所退社
2005年4月 ニンキペーン級建築士事務所開設 現在に至る
2015年4月～近畿大学非常勤講師
2016年4月～神戸芸術工科大学非常勤講師
2020年4月～武庫川女子大非常勤講師

〔主な建築作品と受賞歴〕

2008年 第42回SDA賞 最優秀賞・青木淳賞
2010年 JCD Design Award 2010 新人賞
2015年 第18回木材活用コンクール 日本木材青壮年団体連合会
会長賞
2015年 日本建築士会連合会賞 奨励賞
2018年 土木学会デザイン賞 優秀賞

建築位置／大阪府八尾市
建物用途／事務所
建 築 主／安多化粧合板株式会社
施 工 者／株式会社中野工務店
竣工年月／2019年9月

構 造／W造
階 数／地上1階
敷地面積／613.13㎡
建築面積／225.37㎡
延床面積／120.00㎡

撮影 河田弘樹

〔審査講評〕木造平家の小さなギャラリーである。中庭をはさんで相対する古い倉庫と一体の景観づくりが奏功して、新築にもかかわらず、時間の経過を感じる落ち着いた佇まいに仕上がっている。深い軒下空間は、ギャラリーと中庭をゆるやかにつなぐ半屋外の領域であり、多様な活動の場となりそうだ。小径の木材によるあらわしのトラス架構は、力の流れが目に見えるようで小気味よい。小ぶりながらも豊かさの漂う空間は、ひとえに設計者の誠意の賜物であろう。こんな建築が街中に増えると楽しい。

（審査委員 橋本一郎）

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 UTSUROI TSUCHIYA ANNEX

設計者 垣田博之（垣田博之建築設計事務所）



垣田博之
1968年6月生まれ
1987年4月 京都大学工学部化学工学科
入学
1989年4月 化学工学科から建築学科に
転学科
1991年4月 京都大学工学部建築学科卒
業（卒業設計賞受賞）

1992年9月～1993年8月 フランス国立建築学校 バリラ・ヴィレ
ット校（文部省給費交換留学生）
1995年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 修士課程
修了

1995年4月 竹中工務店 設計部に入社
2013年3月 竹中工務店 設計部を退社
2013年4月 近畿大学建築学部 准教授、垣田博之建築設計事
務所開設 現在に至る

〔主な建築作品と受賞歴〕

<UTSUROI TSUCHIYA ANNEX>第29回AACA賞 優秀賞、第3回
建築設計学会賞、グッドデザイン賞2019、第22回兵庫県人間サイズの
まちづくり賞 奨励賞
<京都文化医療専門学校>2015年京都景観賞 建築部門 奨励賞、
2013年公共の色彩賞
<エスリッドビル本町>2011年 大阪都市景観建築賞 奨励賞
<たけびし本社増築> 日本建築学会 作品選集2009、JCD賞
BEST100
<オムロン草津新3号館>日本建築学会 作品選集2008、JCD賞
BEST100
<灘浜スポーツゾーンクラブハウス>日本建築学会 作品選集2004、
神戸景観ポイント賞、JCD賞 奨励賞

建築位置／兵庫県豊岡市
建物用途／旅館・飲食店
建 築 主／有限会社つちや
施 工 者／株式会社谷口屋工務店
竣工年月／2018年10月

構 造／RC造（既存改修）
階 数／地上2階・PH1階
敷地面積／344.21㎡
建築面積／233.35㎡
延床面積／436.56㎡

撮影 母倉知樹

〔審査講評〕城崎の温泉街に建つカフェとギャラリーを併設した宿泊施設である。1970年建築の旧城崎消防署をコンバージョンすることによって実現された。消防車の車庫であった1階は、オープンカフェとして街に開き、居室として使われていた2階を宿泊室とする。建物にまもわせたステンレスメッシュスクリーンと城崎出身の日本画家・山田毅氏の風景画が、この地域特有の霧の UTSUROI を建物内外に表現する。経年した建物のもつ独特の雰囲気、に、柔らかな空気感が足された。外壁のエンブレム、浴室と庭へと姿を変えたホースの洗い場など、消防署時代の記憶がさりげなく残されている点も好ましい。地域を守り続けてきた消防署が、地域と世界に開かれた新たな場として継承されたことが高く評価された。

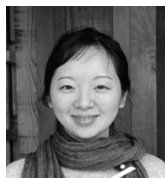
（審査委員 中嶋節子）

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 宗田家住居

設計者 竹内正明・小池志保子・真砂日美香・樹田洋子



建築位置／大阪市中央区
建物用途／事務所・ショップ・ギャラリー
建築主／宗田ビル株式会社
施工者／輝建設株式会社
竣工年月／2018年5月
構造／W造
階数／地上2階
建築面積／79.74㎡
延床面積／148.77㎡
撮影 多田ユウコ



真砂日美香
2014年3月 大阪市立大学大学院博士前期課程修了
2014年4月 ウズラボ入所
[主な建築作品と受賞歴]
〈ミマモリ〉をシェアする家(2014年 パナニック・テクノストラクチャー住宅設計コンペティション佳作)/山之内元町長屋(2016年 第33回住まいのリフォームコンクール・優秀賞)/MATSUMOTO Coffee(2019年 ASIA DESIGN PRIZE・Winner)/Suehiro Nagaya Residence(2019年 A'DESIGN AWARD & COMPETITION BRONZE Winner)



竹内正明
2005年3月 京都工芸繊維大学大学院博士後期課程単位取得退学
2002年11月 ウズラボ共同設立
[主な建築作品と受賞歴]
木材加工所事務所棟+集合住宅改修5カ年計画(SDレビュー2009入選)/2011年 Post-earthquake housing renovation (Regional Holcim Awards 2011 Asia Pacific Acknowledgement prizes)/京都府立堂本印象美術館(2018年GOOD DESIGN AWARD 2018 グッドデザイン賞)



小池志保子
2011年3月 京都工芸繊維大学大学院博士後期課程修了(博士(工学))
2000年4月 中村勇大アトリエ一級建築士事務所入所
2002年11月 ウズラボ共同設立
2011年4月 大阪市立大学准教授

[主な建築作品と受賞歴]
木材加工所事務所棟+集合住宅改修5カ年計画(SDレビュー2009入選)/豊崎長屋(2009年 第8回芦原義信賞/2011年 グッドデザイン賞・サステナブルデザイン賞)/2011年 Post-earthquake housing renovation (Regional Holcim Awards 2011 Asia Pacific Acknowledgement prizes)



樹田洋子
1992年3月 京都工芸繊維大学大学院博士前期課程修了
1984年4月 (株)川崎建築構造研究所入所
1989年10月 桃李舎一級建築士事務所開設
2001年4月 (株)桃李舎に改称

[主な建築作品と受賞歴]
西有田タウンセンター(2006年 JSCA賞 作品賞)/志井のクリニック(2010年 日本建築学会作品選奨)/豊崎長屋(2010年 都市住宅学会業績賞)/Courtyard House 湯里(2011年 第25回大阪市ハウジングデザイン賞)/行橋の住宅(2015年 日本構造デザイン賞)/春日の住宅(2017年 日本建築学会作品選奨)

〈審査講評〉大正14年に船場に建築された住居のリノベーションである。間取りを極力変更せずにギャラリーとしての新たな用途を付加するとともに、困難な伝統的建築物の耐震補強を行い、町家の魅力を大きく高めている。特に、フレームで強調しているミセの間から座敷、中庭、蔵までのヌケが素晴らしい。また、丁寧に素材を選び復元し、歴史を継承しながらまちに新たな魅力を生み出している。
(審査委員 寺本武司)

■渡辺節賞部門 渡辺節賞 堰の家

設計者 斉藤智士(建築設計事務所SAI工房)



斉藤智士
1986年8月 京都府綾部市生まれ
2011年3月 京都造形芸術大学建築デザインコース卒業
2013年3月 広渡建築設計事務所退社
2013年4月 建築設計事務所SAI工房設立
2017年3月～2021年3月 修成建設専門学校 非常勤講師
2021年4月～ 京都造形芸術大学 非常勤講師
2021年4月～ 摂南大学 非常勤講師

[主な建築作品と受賞歴]
「堺の家」2016年 ケミュー施工事例コンテスト優秀賞(竹原賞) 受賞
「堰の家」2019年 屋根のある建築作品コンテスト 住宅部門 優秀賞 受賞
2016年 住宅建築アワード設計競技 入賞
2020年 SUGIMOTO建築デザインコンペティション2020 佳作

建築位置／大阪府豊能郡 構造／W造
建物用途／専用住宅 階数／地上2階
建築主／斉藤智士 敷地面積／178.04㎡
施工者／株式会社池正 建築面積／88.91㎡
竣工年月／2019年2月 延床面積／113.12㎡ 撮影 山内紀人

〈審査講評〉軽やかに浮かぶ屋根の下に、心地よい季節には穏やかな通風や自然光が促される。人と街、自然をつなぐ、中間領域としての大きな土間空間が印象的である。屋外から屋内、また水平にも上下にも、空間の連続性と領域性を巧みに操作している。これにより生まれる、季節や時間に呼応した多様に変化に富んださまざまな居場所は、ライフスタイルの変化が求められるこの時代に、人の営みにまで還帰して新たな住まいの在り方を提案している。(審査委員 荻原廣高)

会長動静

- 5/12 広域災害損害調査員制度WEB会議
- 5/14 大阪府収用委員会
運営部門会議
- 5/19 定時総会

令和3年度定時総会の開催



岡本会長

5月19日に定時総会を開催し、総正会員数2,449名に対して1/3以上となる947名（うち委任状879名）の出席で定款第17条に照らして成立しました。

◇会長所信

会長は、コロナ禍において、委員会の会議方法や講習システム及び事務局業務等の電子改革を強化するために、本会の活動部門の電子化を支援するIT促進委員会を新設すると同時に、既存委員会の一部改組も行い一層の行動力が発揮できるよう地盤を整え、会員の皆様の更なる利益の増進を図ることを目指すことを表明しました。また、本会は来年創立70周年を迎え、25年には大阪・関西万博と建築士会全国大会「大阪大会」を控えて、これまで以上のご支援をお願いしました。

◇第1号議案（令和2年度事業報告）

本会が令和2年度に実施した公益目的事業、収益事業、その他事業について、運営・研修・事業・建築表彰・建築情報・社会貢献の6つの常設部門別に活動内容を報告し、承認しました。

◇第2号議案（令和2年度財務報告）

令和2年度は、コロナ禍の影響を受けて各種事業が中止・延期を余儀なくされ、全般的に活動が低迷しました。一方で賛助会員の入会増及び登録閲覧事務、定期講習、CPD制度登録の事業収

支が堅調に推移し、特に用途変更による空家利活用促進の国庫補助事業や泉佐野市の特定空家撤去の受託収入による増収及び役員の寄附が大きな要因となり、経常収益計163,987,463円、経常費用計161,632,830円、当期経常増減額は2,354,633円の黒字になりました。

さらに、公益法人の運営条件として、法律で定められた次の3つの条件

①公益目的事業比率が50%以上（令和2年度は87.8%）

②公益目的事業の各収支が全てマイナス

③公益目的事業収支に収益事業収支の50%を加えてもマイナス

以上の全てを満たしており、健全な財務運営がなされていることを報告しました。

◇第3号議案（令和3年度役員選任）

理事・監事候補者選考委員会から推薦され、理事会で承認された理事候補者25名、監事候補者2名が総会において選任され、令和3年度の役員構成は理事48名、監事2名となりました。

■表彰式

コロナ禍により、府市及び友好団体の来賓招待を控え、名誉正会員称号、栄誉・永年会員表彰、CPD制度表彰の会員表彰と、第64回大阪建築コンクール、第13回建築人賞の建築作品表彰を行いました。



会場は出席者の離隔距離を確保して実施

■記念講演会

栗生明氏（㈱栗生総合計画事務所代表取締役）をお迎えして「祈りの空間」をテーマにご講演を頂きました。

なお、会員交流のための懇親会は、新型コロナウイルス感染防止対策により中止いたしました。

徳岡浩二特任相談役が春の黄綬褒章を受章

本会特任相談役の徳岡浩二氏（㈱徳岡設計代表取締役社長）が4月29日に黄綬褒章を受章されました。

氏は34年以上に亘り建築設計業務に精励するとともに、昭和63年に本会に入会され、平成8年より理事に就任し、長きに亘り本会を通して建築社会の発展に尽力されています。

理事就任初期には、青年委員長としてシーザペリ、ピーターエブナー、ダニエルリベスキンド、ドミニクペローの国際的著名建築家を招聘して講演会を開催され、以後もこれまで多くの本会活動を牽引して成功に導いています。

近年では、府木材連合会と共同して地場産木材での大規模木造建築の提案による2025大阪・関西万博での具現化を目指し、一方で大阪のウォーターフロントの活性化を図る提言をまとめるために尽力をされています。

黒川宗範理事と竹田敦子理事が大阪府知事表彰を受賞

本会理事の黒川宗範氏（㈱大林組）と竹田敦子氏（㈱竹田義建築）が5月3日に、大阪府知事表彰を受賞されました。

黒川氏は、平成10年に本会に入会し、評議員を経て平成27年からは理事に就き、建築士の技術研鑽のためのセミナーを担う研修部門の構造・施工委員会委員を務め、平成31年から令和2年まで設計・設備・法令委員会の委員長を務められています。竹田氏は、平成7年に本会の活動を始め、評議員を経て、平成21年から理事を務め、女性建築士の視点から『安心・安全安らぎの家』の刊行や、女性建築士の働き方改革として『建築女子がきずく未来』の編纂に携わり、平成27年から大阪府住まいまちづくり教育普及協議会委員及び平成30年から同協議会の議長に就き、小中学校の生徒に授業を行う出張講座を牽引されています。

両氏ともに理事の重責にあつて、本会の事業推進等に尽力されています。

建築基準法 及び 同大阪府条例 質疑応答集

改訂第7版



▼内容構成

第1章 総則関係／第2章 単体規定／第3章 集団規定
第4章 雑則規定／付則 シックハウス／ 天空率／
大阪府建築基準法施行条例解説／
劇場等に関する技術基準解説／
建築基準法の「その他これらに類するもの」の扱い ほか

▼体裁 A4版 207頁

▼定価(税込) 発行団体会員：4,000円
— 一般：4,500円

大阪府内建築行政連絡協議会監修
法令の各条項についてQ&A形式で
解説した建築申請の実務書です。

9年ぶりの改訂

発行／(公社)大阪府建築士会

(一社)大阪府建築士事務所協会

穏やかな時を重ねて

脇田和 アトリエ山荘 一九七〇年

文・写真 松隈 洋「京都工芸繊維大学教授」



二〇〇九年一月二十四日の
建築ワークショップの光景



二階の多角形テーブルに坐る
松本哲夫と益子義弘の両氏

新型コロナウイルスの感染拡大が依然として止まらない。緊急事態宣言下の鬱屈とした閉鎖的な状況はいつまで続くのだろう。そんな中で、改めて人間にとって建築とは何かが問われている。時代を超えて心のよりどころとなる建築はどこにあるのか。そう考えるとき、想起されるのが吉村順三（一九〇八〜一九七七年）の仕事だと思ふ。そんな思いを筆者が抱くのも、私事ながら縁あって長く通い続けた建物があるからだ。それが、

脇田和（一九〇八〜二〇〇五年）の軽井沢のアトリエ山荘である。脇田は戦前から平成にかけて活躍した洋画家である。吉村順三との出会いは一九四九年、脇田が猪熊弦一郎や伊勢正義、小磯良平らと一九三六年に結成した新制作派協会に建築部が創設された際、建築界から吉村や前川國男、丹下健三、池辺陽らが加わったことに始まるという。伊勢と吉村は東京美術学校の同級生であり、伊勢のアトリエ（一九五三年）を吉

村が設計した。そのようなつながりから、脇田は、一九五九年に世田谷区代田のアトリエ付きの自宅の改築・改装の設計を吉村に依頼する。この時、吉村は、既存の建物の構造はそのままに内部と二階を新たに設計し、居間に暖炉を設けている。脇田は、一九五九年に、小磯の招きで東京藝術大学版画教室の非常勤講師となり、六四年には助教授、六八年には教授に就任し、吉村と同僚となる。二人は同じ年生まれでもあり、このような経緯から信頼関係が築かれていったのだろう。そして、脇田は、七〇年の教授退官を期に軽井沢にアトリエと生活の拠点を移すことを決意し、設計を吉村に依頼したのだ。因みに、吉村は一九六三年に自らの代表作となる「軽井沢の山荘」を建てていた。そのような経緯からなのだろう。吉村の下で脇田山荘を担当したのは、軽井沢の山荘と同じく、若手所員の平尾寛だった。

敷地は、軽井沢駅から北へ伸びる軽井沢本通りから北西に少し入った雑木林の中に計画された。その場所は杉苔の生えた湿地だった。そのため、吉村は、湿気の多い軽井沢特有の土地柄に加えて湿地だった敷地条件も考慮して、アトリエと住まいからなる主要階を2階レベルに持ち上げることを提案する。また、敷地中央に立っていた既存のコブシの樹を取り囲むような空間構成を目指した。こうして、吉村が自らの別荘で用いた設計手法と同じく、一階部分は二階の床スラブまでを鉄筋コンクリート造とし、六本の柱によって木造の二階部分を宙に浮かせるピロティが取られた。そして、敷地が広がったこ

ともあり、二階は庭のコブシの樹を取り囲むように「く」の字型の細長い平面形をしており、全長三十五mにも及ぶ。室内は、中央に居間・食堂・台所を大きく取り、渡り廊下で奥のアトリエにつながり、手前側に寝室や書斎などプライベートな部屋を配置することで、どの部屋からも庭のコブシの樹を眺められる伸びやかな一続きの空間が実現する。

一階のピロティから外階段を上り、玄関を入ると、庭に面した大きな開口部を通して視界が一気に開ける。また、反対側の居間と食堂の壁沿いには、造付けのソファが設えられ、多角形のテーブルと脇田のデザインした食堂の照明器具によって、居心地の良い落ち着いたコーナーが形づくられた。天井には地元産のカラマツ材が張られ、軒先まで同じ材料とすることで、包み込まれたような雰囲気醸し出されている。そして、大きな開口部は、吉村山荘と同じく、雨戸、網戸、ガラス戸、障子のすべてをすべて戸袋に引き込むことができ、内部と外部が一体となって風と光が通り抜ける。窓際に置かれたのは、吉村とレーモンド事務所時代の同僚で、親交の深かったジョージ・ナカシマの家具である。また、居間の西側には暖炉が置かれ、脇の扉から奥のアトリエへと渡り廊下伸びていく。アトリエは整然とした長方形の平面と平らな天井を持ち、同じ庭への眺望を共有しながらも、独立した別世界が形づくられている。こうして、さまざまな居場所が連続的に構成され、豊かな空間が広がる。この山荘は、脇田と吉村の信頼関係と恵まれた条件下に竣工し、二〇〇

五年に脇田の亡くなるまで三十五年間、作品制作の拠点として使われてきた。彼の没後も、遺族によって大切に守られ、毎年一般公開が続けながら現在に至っている。そして、竣工から五〇年の節目となった二〇二〇年には、国の登録有形文化財に登録された。

そんな山荘の一般公開の建築ワークショップに、筆者も招かれ、今は亡き三沢浩、川添登、長谷川堯をはじめ、松本哲夫、益子義弘、平尾寛、横内敏人、西沢大良の各氏らと共に、静かな時間を過す機会を得たのである。二〇一九年には、吉村と関係の深いアントニン・レーモンドの孫娘の写真家シャロットさんとジョージ・ナカシマの息女ミラ・ナカシマさん、MOMAの学芸員のジュリエットさん、ワシントン州立大学教授で建築史家のケン・タダシ・オオシマさんらをアメリカから招いた国際シンポジウムも開催されて、ゆかりの地の軽井沢で交流を深める機会もあった。脇田とアトリエ山荘は、吉村の設計手法が極めて高いレベルで遺憾なく盛り込まれており、住まいを中心とする独自の建築世界を切り拓いた吉村の建築思想を伝える貴重な生きた文化遺産である。同時に、ヴォーリズやレーモンドを始めとする別荘文化が長く根づいてきた軽井沢町にとっても、大きな地域資源となっていくことが期待されている。残念ながら、今はコロナ禍の影響もあって、その再開が待たれる。写真のような、人と人をつなぐ建築の幸福な光景が取り戻される日を、待ち望まずにはいられない。

UNION

空間を結ぶ、芸術となる。



new catalog

最新カタログ『2021 アーキズムシリーズ新製品カタログ』ご請求は www.artunion.co.jp よりお申し込みください。

本社:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 東京支店:〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811 fax 03-3630-2816 大阪支店:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731 fax 06-6533-2293 名古屋営業所:〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221 fax 052-363-5255



風景画スケッチが組み込まれた、2階宿泊室



デッキテラスを介して街に開かれた、1階カフェと風景画展示スペース